

障害乳幼児の療育を守り発展させるつどい

日時：2005年8月28日（日）午後1時30分～4時

場所：阪南パラドームくすのきホール（地下鉄御堂筋線昭和町駅下車4番出口徒歩5分）

内容：①障害者自立支援法案の経過

②実践報告〔平澤真文氏（吹田市立杉の子学園）〕 知的障害児通園施設からの実践報告
共同研究者〔白石正久氏（大阪電気通信大学、全障研副委員長）〕

□定員：150人 □申込不要 □資料代：500円

現在国会審議中の「障害者自立支援法案」では、乳幼児にも育成医療廃止→1割負担・療育はすべて利用契約のうえ応益負担・不明確な障害程度区分といった内容が押し付けられます。これは障害の早期発見・早期療育、親の障害受容、ゆたかな乳幼児期の保障に逆行するばかりでなく、集団や生活を大切してきた療育が経営効率優先で切り崩される危険がとて大きくなります。

これに対して法案の問題点を明らかにし、連帯を訴える「障害乳幼児の療育に応益負担を持ち込ませない会（代表：茂木俊彦氏）」の活動が全国的に展開されています。大阪・近畿でも、これまで築いてきた療育の実践を学びあいつつ、制度改悪反対の声を大きく広げていきましょう。

主催：全国障害者問題研究会大阪支部 乳幼児問題研究会 連絡先：072-253-7366 陽だまり保育園（島田）

障害乳幼児の療育に応益負担を持ち込ませない会 連絡先：075-465-4130 らく相談室（池添）